

人口減少時代を救う 個性あふれる文化観光振興の創生に向けて —久万高原町民自らがつくる新たな未来像—



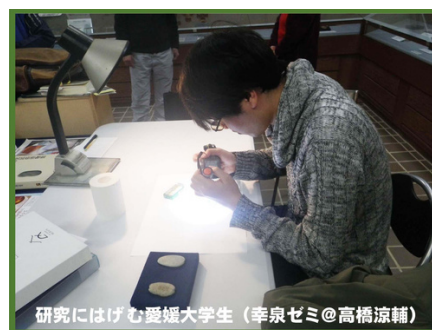
縄文土器製作風景（幸泉先生）



千葉市立加曽利貝塚博物館（幸泉先生撮影）



上黒岩遺跡考古館
（久万高原町）



研究にはげむ愛媛大学生（幸泉ゼミ@高橋涼輔）

講演会要旨

いま、人口減少が急速に進む地方のまちでは、10年後を見すえ、個性あふれる"文化資源"の新たな価値を創造し、その魅力を持続的に発信していく必要があります。

今回の講演会では各地の先進事例を参考に、無二の文化資源"上黒岩岩陰遺跡"をどう活かしていくべきか、ともに考えてみたいと思います。

そのうえで、町民ひとりひとりが日々楽しみながら取り組み、そのオリジナルの成果と魅力を全国に発信していけるためには、現状何が必要なのか。ぜひ考えて参りましょう。

講師

愛媛大学法文学部准教授 幸泉 満夫 先生

KOIZUMI MITSUO

日時：令和8年10月4日（日）13時30分～14時30分

場所：久万高原町 美川農村環境改善センター視聴覚室

【住所】上浮穴郡久万高原町上黒岩2923-1

【申込】本講演会は、無料で申込不要です。なお、団体でご参加予定の場合は、会場準備のため事前にご一報いただけますと幸いです。

【お問い合わせ】：久万高原町立図書館 ☎ 0892-50-0415

久万高原町教育委員会美川支所 ☎ 0892-56-0211

E-mail: syougai-gakusyuu@kumakogen.jp